

1. 件 名：実機材を用いた安全研究に関する意見交換
2. 日 時：令和2年9月16日(水)10時00分～12時30分
3. 場 所：web会議
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

池田技術研究調査官

皆川技術研究調査官

渡辺技術研究調査官

徳田技術研究調査官

関西電力株式会社：1名

三菱重工業株式会社：1名

学校法人早稲田大学：1名

日本エヌ・ユー・エス株式会社：3名

#### 5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施する安全研究プロジェクト「実機材等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」（令和2年度から6年度）のうち、電気・計装設備の健全性評価に係る研究（以下「本研究」という。）において実機ケーブル等を使用した研究を実施するため、関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）と規制庁の間で、ケーブル等の機器の貸与に係る文書を取り交わした。これにより、規制庁は関西電力から高浜発電所1号炉から取り出した実機ケーブルの貸与を受けたので、これを用いた試験について意見交換を行った。

本研究は委託研究として実施するものであり、委託研究の受託者である学校法人早稲田大学（以下「早大」という。）から、実機ケーブルを用いた試験計画について説明があった。また、早大からは実機ケーブルの劣化評価を行うために、布設環境に関する情報提供を希望する旨説明があった。このため、提供を希望する情報について規制庁と早大で整理した上で、関西電力と調整することとなった。

関西電力から、高浜発電所2号炉の実機ケーブルの取り出し時期について説明があった。早大からは、できるだけ長くケーブルを取り出し提供いただくことを希望する旨発言があり、関西電力からは可能な限り希望に沿えるよう調整する旨回答があった。

本研究を円滑に進めるために、今後も引き続き、面談にて意見交換をしていくこととなった。

6. その他

提出資料：特になし。